

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	令和2年7月に「コンプライアンスポリシー」を策定し、全ての人の人権・人格を尊重し差別をしないと宣言している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	令和2年7月に「コンプライアンスポリシー」を策定し、職場内におけるセクシャルハラスメント・パワーハラスメントを行わず、またこれを許さないと示している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	週5日勤務、就業時間9時AM～5時PMの7時間勤務で、月平均残業時間を10時間以内に管理している。(2021年平均残業時間実績は月6時間)。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	現在は外国人労働者は雇用していないが、今後雇用する場合は、多文化共生の理念に基づき、各人の人格・人権を尊重する。					4.4			8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	オフィス内では、足元にものを置かない等の基本的な整理整頓清掃を実施。年1回の健康診断の受診。自社開発の健康管理アプリにて、毎日の健康状態記録の実施。客先工場内の事故防止の為のKY活動の実施並びに、年2回のヒヤリハット事例に学ぶ安全教育を実施。				3				8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	定期的に社員とのヒアリングを実施。今後年1毎にストレスチェックを実施予定。			3														
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	現在定年65歳としているが、今後70歳までに延長する予定。将来的には定年制を廃止したい。また、ジェンダーによる男女差はない。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	令和3年8月に「とちぎ健康経営事業所」に認定されており、健康宣言に基づく健康管理活動を実践している。			3				8										
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	OJTは元より、高度な技術スキルを身に着ける為に、外部教育機関での教育訓練に積極的に参加している。				4			8 9										
	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	現在は正社員のみ雇用しているが、将来契約社員・パートタイマー・派遣などの雇用が必要になる事を考慮し、同一労働同一賃金の原則に則った対応を、評価方法含め検討してゆく。							8.5		10.2 10.3								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	契約処理業者に年1回廃棄物の適切な処理を依頼している。また、自社開発のアプリを使用し、各種申請書類のペーパーレス化を実施している他、図面・設計資料等は全てデジタル保存を行い、紙の消費を削減している。											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	毎月の電力消費量を記録し、電力消費量の削減に努めている。また社内照明は全てLED化したほか、昼休みの消灯を行っている。							7.3						13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	今後、社用車を全てHVあるいはEVに順次交換してゆく。							7.2 7.3						12.4	13.3			

## とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

樣式3号

#### とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	S D G s の ゴール・ターゲット の マッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 					
30 製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	生産設備製作においては製造パートナー企業に、環境負荷の低減を図ることを目的とし省エネ機器の使用を依頼している。						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	デジタル化推進の一助として、業務のデジタル化アプリを開発している。令和4年リリース予定。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
31 社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	社会貢献として、「とちぎグローバル人材育成プログラム」への支援、「宇都宮大学3C基金」支援等をはじめ、地域スポーツの振興支援を行っている。				4					9		11	12	14	15	17		
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	令和3年8月に、「ボランティア休暇制度(有給休暇)」を策定。地域貢献活動・社会福祉活動・自然環境保全活動・災害地復興支援活動・その他公的機関からのボランティア協力要請に対応している。			4								11		14	15	17		
	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	栃木県出身者を積極的に雇用する。								8	9	11	12	13					
32 33 34	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	令和2年7月に策定した「コンプライアンスポリシー」の内容を社員全員で共有している。																16	
	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	経営理念は明文化されており、企業理念・経営方針・行動指針・決算状況等の説明を、社員に行い共有されている。									8	9					17		
	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	○			応用	令和2年7月に策定した「コンプライアンスポリシー」の内容を社員全員で共有し、法令遵守を徹底している。															16		
35 36 37 38 39 40 41 42 43	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	○			応用	未整備																	16
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	○			応用	残業時間管理・有給休暇取得率の向上を行っている。（令和3年の月平均残業時間6時間、有給消化率75%）															16		
	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	○			応用	令和2年7月に「コンプライアンスポリシー」を策定し、行動指針として、「良き市民として、また良き企業市民に属する一員として地域・社会貢献に務める」と定め実践している。															16		
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	○	○	○	応用	ステークホルダーとの対話と、適切な企業情報の提示を行いステークホルダーの理解を得ている。																16	17
	【事業継続】 ・事故や灾害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	BCP計画を策定しているが、COVID-19の様な新たな脅威に対応できるものに改定を予定している。									9		11	13	13.1			16	
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	現在事業承継の準備期間に入っている。5年～7年を目途に、事業承継を完了する予定。									8	9						17	

## とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリー	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	上記以外で設定した取組項目																						

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

### 【記載留意事項】

- SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。  
(SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。)
- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。  
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- 「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。  
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるばし認定、森林認証制度など）